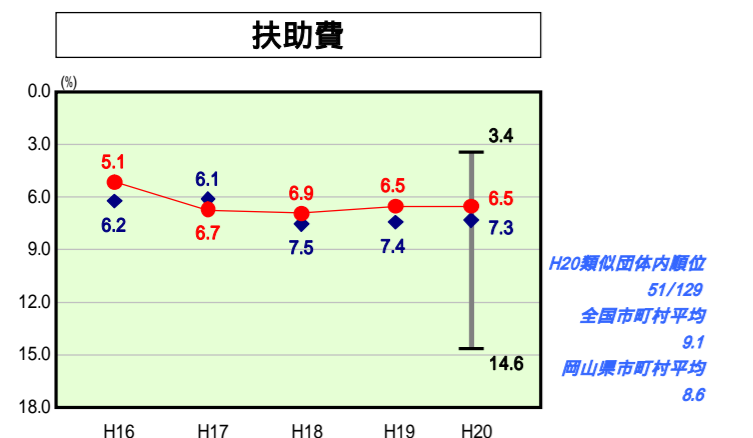
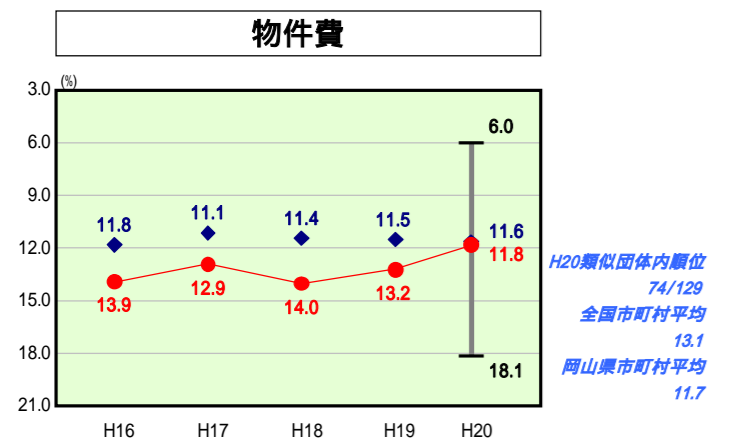
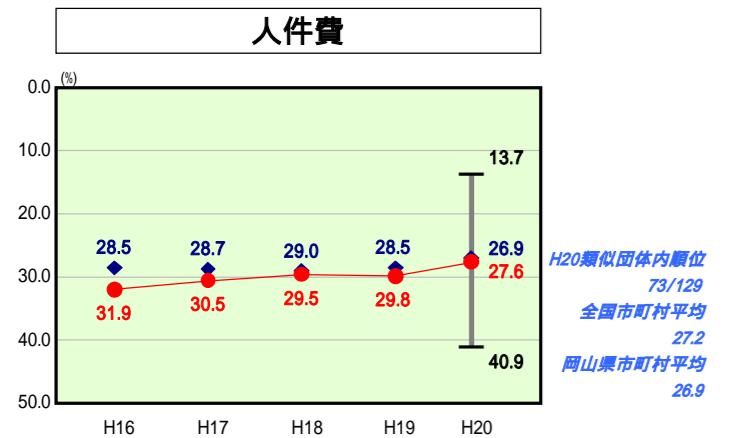
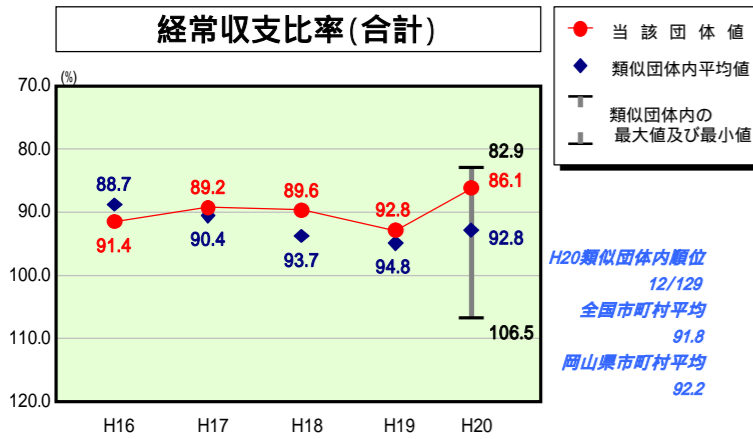
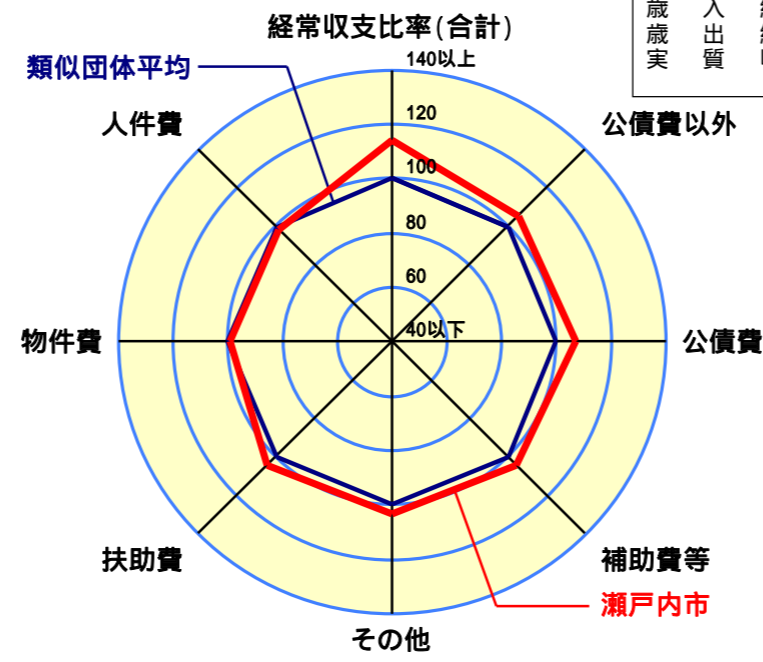


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	39,281 人(H21.3.31現在)
面積	125.53 km <sup>2</sup>
標準財政規模	9,972,976 千円
歳入総額	14,209,038 千円
歳出総額	13,746,306 千円
実収支	423,076 千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析欄**

【人件費】  
職員削減などの取り組みにより減少傾向となっているが、集中改革プランに沿って平成17年度から平成22年度までの5年間に31人削減(公営企業会計を除く)の目標に対し、引き続き数値目標が達成できるよう取り組む。

【物件費】  
前年と比べ1.4%減少しているが、類似団体平均より上回っている。今後も事務事業の見直しをはじめ、施設の統廃合や民営化、指定管理者制度の導入など積極的に経常経費の削減を図る。

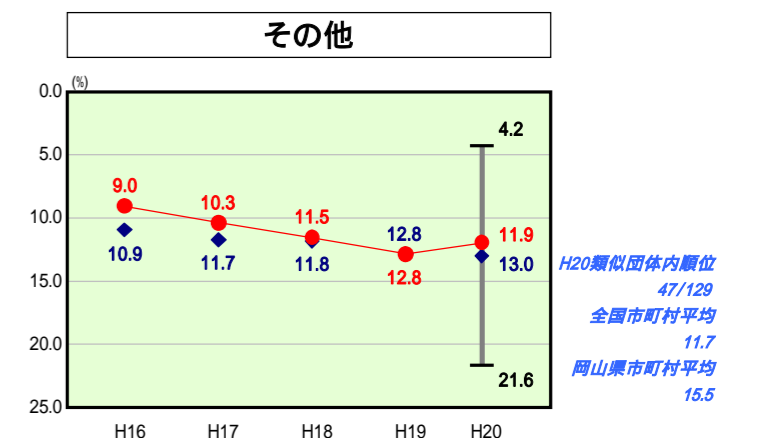
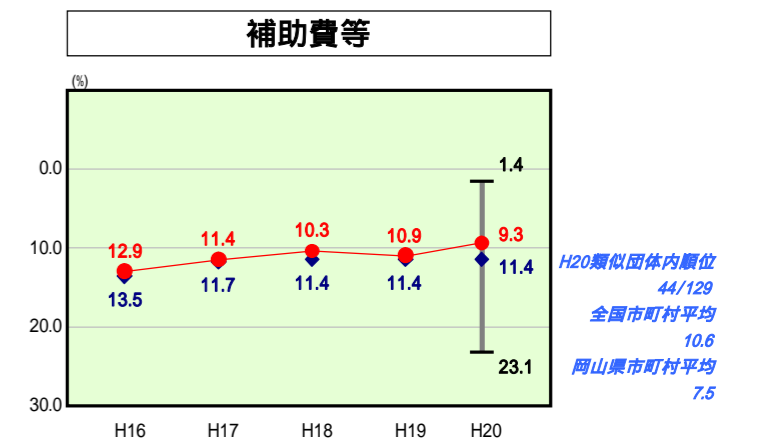
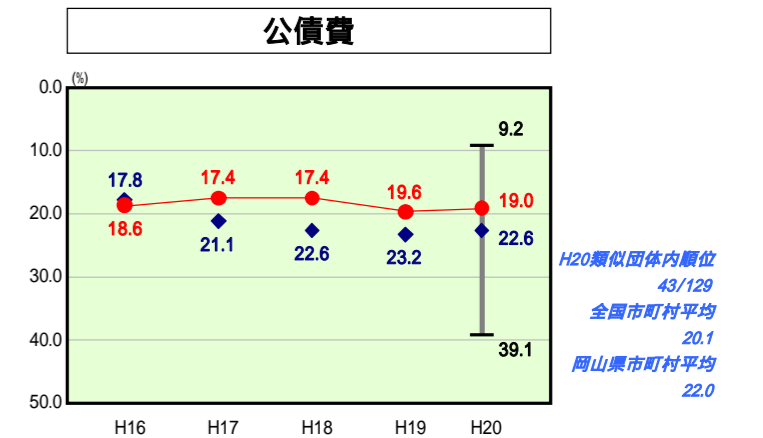
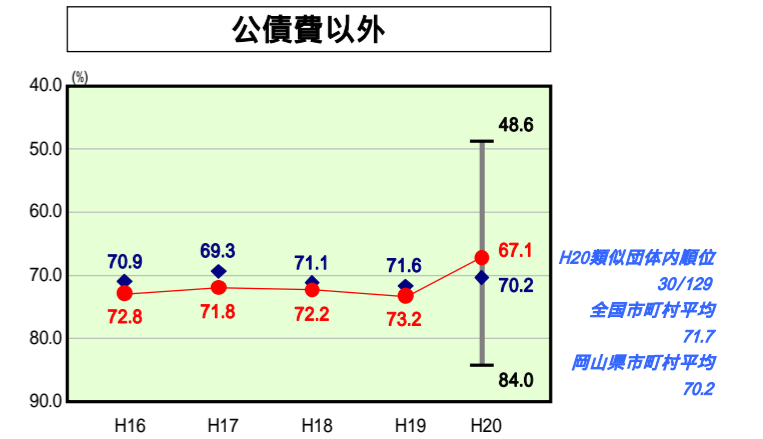
【扶助費】  
類似団体平均とほぼ同水準で推移している。少子高齢化に伴う国の施策に伴う社会保障費の伸びにより比率も上昇しているが、今後も単独事業の見直しを行うなど財政を圧迫する上昇傾向を抑制するよう努める。

【補助費等】  
前年度と比べ1.6%減少しており、類似団体平均より下回っている。今後もさらに各種給付事業や団体活動補助金の見直しを図り、積極的に経常経費の削減を図る。

【公債費】  
合併特例債や臨時財政対策債の元金償還が始まったことにより、今後もさらに上昇が見込まれ、非常に厳しい財政運営となることが予想される。今後は公債費負担適正化計画に沿って、市債発行総額を原則その年度の元金償還額を下回る額に抑え、公債費の抑制を図る。

【その他】  
前年度より減少したものの、繰出金の増加により今後上昇が予測される。下水道事業の元金償還が始まることにより、公債費に対する繰出金が年々増加することが原因としてあげられる。今後は、公債費負担適正化計画に沿って、公共下水道整備の現計画を延伸し、事業費を縮小することで市債の発行を抑え、公債費に対する繰出金の増加の抑制を図る。

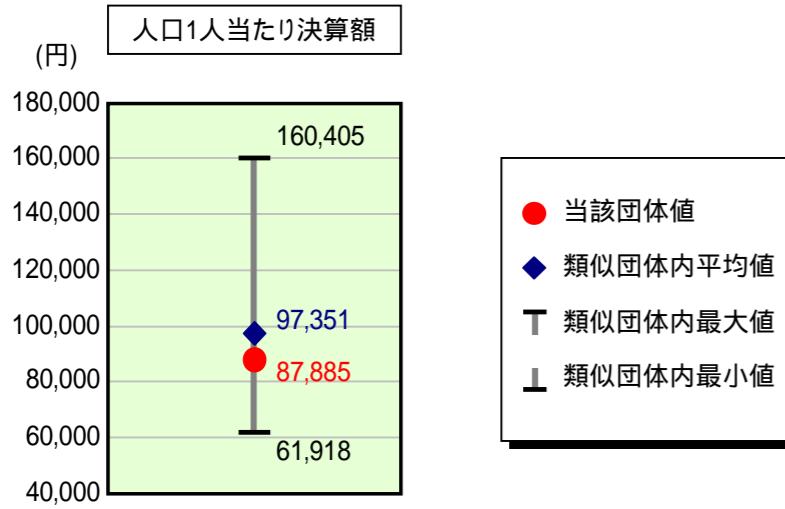
【普通建設事業費】  
人口1人当たり決算額は類似団体平均を下回っているが、許可団体であることから、今後も引き続き事業を延期・縮小・廃止するなど真に必要な事業のみを取捨選択して事業の見直しを図るなど抑制していく必要がある。



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

岡山県 瀬戸内市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



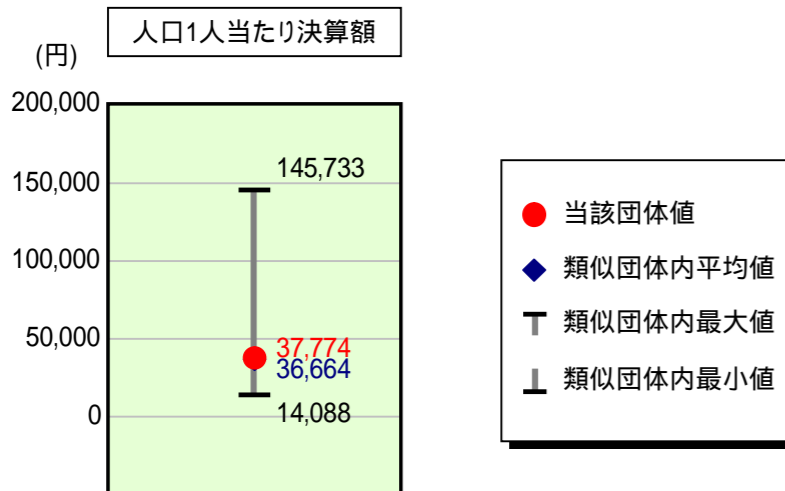
### 人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,127,992	79,631	87,834	9.3
賃金(物件費)	326,160	8,303	4,894	69.7
一部事務組合負担金(補助費等)	56,468	1,438	9,731	85.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	108,770	2,769	687	303.1
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	159,318	4,056	3,500	15.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	29,467	750	1,822	58.8
退職金	355,955	9,062	11,117	18.5
合計	3,452,220	87,885	97,351	9.7

### 参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.70	9.50	0.20
ラスパイレス指数	92.8	95.6	2.8

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

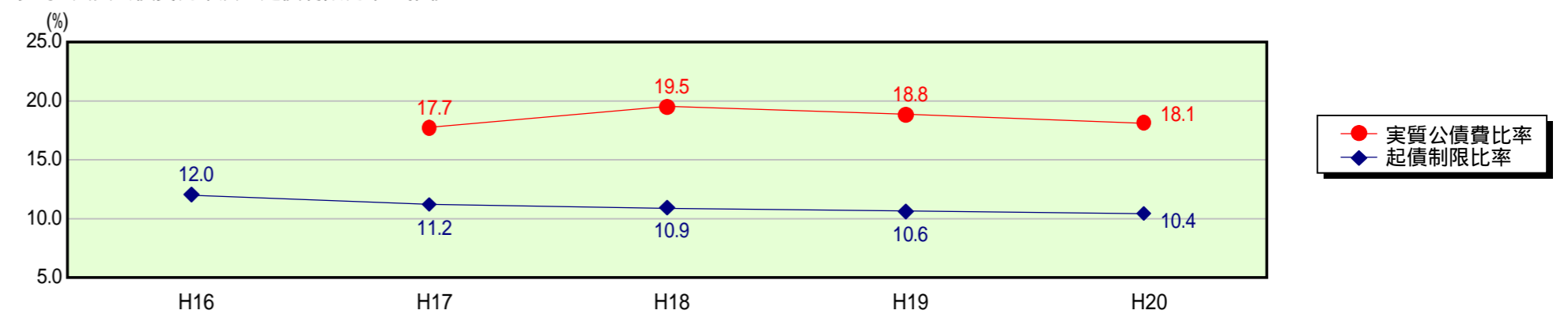


### 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,913,336	48,709	61,539	20.8
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	39	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	193,150	4,917	15,807	68.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	139,530	3,552	4,424	19.7
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	505,292	12,864	2,297	460.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	33	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,267,512	32,268	47,475	32.0
合計	1,483,796	37,774	36,664	3.0

平成21年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体については、「-」としている(以下の項目について同じ。)

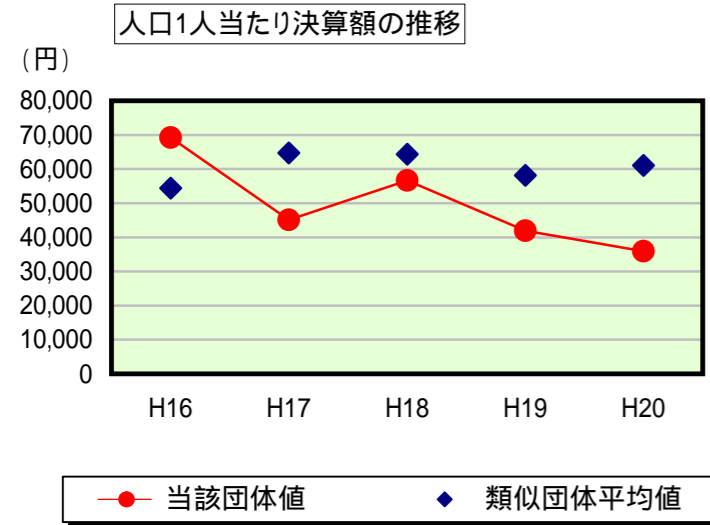
### 参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

岡山県 瀬戸内市

## 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H16	2,789,239	69,220	-	54,368	-	-
うち単独分	2,033,004	50,453	-	38,585	-	-
H17	1,802,224	45,101	34.8	64,690	19.0	53.8
うち単独分	1,165,931	29,177	42.2	39,427	2.2	44.4
H18	2,251,400	56,611	25.5	64,305	0.6	26.1
うち単独分	1,297,821	32,633	11.8	34,136	13.4	25.2
H19	1,661,779	41,944	25.9	58,137	9.6	16.3
うち単独分	727,271	18,357	43.7	29,406	13.9	29.8
H20	1,409,476	35,882	14.5	61,050	5.0	19.5
うち単独分	785,158	19,988	8.9	31,167	6.0	2.9
過去5年間平均	1,982,824	49,752	9.9	60,510	2.8	12.7
うち単独分	1,201,837	30,122	13.0	34,544	3.8	9.2